

# 新技術活用促進セミナーを開催 ～現場で使った新技術15選～

「建設技術展2019近畿」において、新技術活用促進を目的として、活用効果や機能が優れている新技術について、技術開発者より技術の紹介を行いました。発表技術は、平成29、30年度に「有用な技術」と評価された技術の中から業団体の推薦で選ばれた15技術です。会場は、立ち見が出るなど、約300人の参加がありました。

冒頭、技術選定委員会の建山委員長からは、頻発する災害に鑑み、防災に関する新技術や復興に使われるICT技術等にも注目され、技術開発者の日々の努力に敬意を表すと述べられました。



建山委員長挨拶

## 【開催日時・場所】

令和元年10月24日（木） 9:30～12:00  
 マイドームおおさか 橋梁模型会場（2F）

## 【技術選定】

新技術活用促進セミナー技術選定委員会  
 （学・産（建設業界7団体）・官の委員で構成）  
 委員長 立命館大学 建山教授

## 【主催】

近畿地方整備局

## ◆発表技術一覧◆

- ① 蔵衛門Pad
- ② 内部充てん型エポキシ樹脂被膜PC鋼より線（ECFストランド）
- ③ Catグレードコントロール2Dガイダンス
- ④ ブラスト面（素地調整1種）を形成できるハンディ動力工具『ブリストルブラスター』
- ⑤ けい酸塩系表面含浸材CS-21ネオ
- ⑥ 地上型3次元レーザースキャナによる形状計測
- ⑦ プラシキ
- ⑧ 鉄筋用機械式継手（エポックジョイント、エースジョイント、フリージョイント、リレージョイント、トップスジョイント、ボルトトップス）
- ⑨ 締固めレイヤー管理工法
- ⑩ 道路管理画像を用いた路面評価システム
- ⑪ NKさび安定化防錆工法
- ⑫ 鉛直打継処理シート工法
- ⑬ FRP検査路
- ⑭ 油圧式敷板鋼板移送装置
- ⑮ 3次元点群処理ソフト（TREND-POINT）を用いた施工土量計測システム